

2025近畿大学アンチエイジングセンター
第37回 市民公開講座



自分らしさをあきらめない!

受講料無料 定員150名(先着順)

日時

11月15日 [土] 13:00 開演 (12:30 受付開始)

場所

近畿大学 東大阪キャンパス C館 1階 102教室

アンチエイジング弁当無料配布 (C館 1階102教室、配布時間11:00~11:30)



講演 1 13:00~14:00

Well-beingな生き方とは

[講師] 近畿大学文芸学部文化デザイン学科
教授 森口 ゆたか



講演 2 14:20~15:20

暮らしの中の身近なアートとファッション ~いつまでも自分らしく~

[講師] 株式会社ダブディビ・デザイン、一般財団法人たんぽぽの家
柊 伸江 (ヒイラギ ノブエ)

お申し込み・お問い合わせ先

近畿大学アンチエイジングセンター TEL (06)4307-3058

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 FAX (06)6730-1394

<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/> E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp



申込フォーム

主催 近畿大学アンチエイジングセンター



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学アンチエイジングセンターでは、少子高齢化が進むわが国において、国民の第一の財産である健康を守り、健康寿命を延ばし、生き生きとした社会を創るための活動を行っています。

講演 1

13:00~14:00

Well-being な生き方とは

[講師] 近畿大学文芸学部文化デザイン学科 教授 森口 ゆたか

WHO (世界保健機関) が定義する健康とは、「完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」です。つまり、病気ではないから健康なのではなく、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも満たされた状態でなければ健康とは言えないのです。最期まで自分らしく、人生を楽しんで生きる為にはどのようにすれば良いのか? ホスピタルアートという療養環境に於けるアートを専門とする森口が、幸福やウェルビーイングについて紐解き、病院という場に単に人間修理工場にならない為にどのような実践が行われているかを紹介します。それと共に近年イギリス等で実践が始まった「社会的処方」についても解説し、これまでの医学的処方のみではなく、より全人的な医療のニーズについてもご紹介します。今後のご自身の健康と幸福について考える際のヒントにいただければ幸いです。

プロフィール

1986 年シカゴ美術大学大学院彫刻科修了。
1986 年より現在に至るまで毎年、各地の画廊・美術館で作品を発表。
2011 年徳島県立近代美術館にて個展「森口ゆたか あなたの心に手をさしのべて」を開催。
1998 年から 2 年間にわたるイギリス滞在中にホスピタルアートと出会い、以来美術家としての活動と並行して、医療現場でのアートの可能性を探る活動始める。
2004 年に NPO 法人アーツプロジェクトを設立。これまでに関西を中心とする 30 カ所以上の病院で、ホスピタルアートの企画運営、実施に携わる。
2016 年 4 月より、近畿大学文芸学部に新しく開設された文化デザイン学科に於いて、ホスピタルアートを中心に「芸術と社会」という観点から教育に携わる。

研究テーマ

ホスピタルアート

主な著書

「文化で地域をデザインする」(共著、範囲 7-2 ホスピタルアートの可能性) 学芸出版社 2020 年 3 月
「病院のアート 医療現場の再生と未来」(責任編集者) 生活書院 2014 年 6 月

講演 2

14:20~15:20

暮らしの中の身近なアートとファッション
~いつまでも自分らしく~

[講師] 株式会社ダブディビ・デザイン、一般財団法人たんぼぼの家 終 伸江

「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が 2018 年に施行され、今年度からは全国全ての都道府県に支援センターが設置されました。また、「障害者差別解消法」が一部改正され、2024 年からは、全ての民間事業者にも「合理的配慮」の提供を行うことが義務化されました。これは、障害のある方や高齢の方など、ケアやサポートを必要とする方が、未だに社会の中の「障害」に苦しんでいるというこのことの表れかもしれません。どんな人でも文化芸術を楽しむ権利があります。それは、暮らしの中の身近なモノやコトから生まれるアートでも良いのです。自分を起点にして、心地よい時間とはどんな時間か、心地よい空間とはどんな空間かを考えると、そこには必ず自分らしい何かがあるのではないかと思います。私の研究テーマである障害者アートとユニバーサルファッション、この二つの分野の事例をヒントに、みなさんなりの自分らしさを考えていただければと思います。

プロフィール

1998 年神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科卒業。
2011 年大阪市立大学創造都市研究科(都市ビジネス専攻アントレプレナーシップ研究分野)修了。
株式会社ワコール、大学教員を経て、2012 年 5 月、株式会社ダブディビ・デザイン設立。
2006 年 3 月より学生と共に「みっくすさいだい」を立ち上げ、障害者アートを活用したデザイン活動を行う。
障害者アートを活用した商品企画の他に、授産製品の商品開発支援や福祉事業所のデザインコンサルティング、セミナーや展覧会の企画などを行う。
2025 年からは一般社団法人たんぼぼの家、エイブルアート・カンパニー東京事務局で、障害のある人が、アートを仕事にできる環境をつくるプロジェクトに従事。

研究テーマ

障害者アートとデザイン、ユニバーサルファッション

主な著書

「ファッションがわかる本」(共著、担当: 4 章ファッション雑誌) プレーン出版、2006 年 6 月
「障がい者の創作活動の現在」(共著、担当: 2 章 創作活動を就労支援に 3. 創作物を障がい者アートとしての商品に) あいり出版、2016 年 7 月

お申し込み方法

近畿大学アンチエイジングセンター

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/>

TEL (06) 4307-3058

FAX (06) 6730-1394

E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp

住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・FAX 番号を明記の上、下記の E-mail、FAX または申込フォームのいずれかでお申し込みください。

*ご応募頂いた皆様の個人情報は、近畿大学アンチエイジングセンター市民公開講座のご連絡のみに使用いたします。



申込フォーム

■電車乗り換え案内 <各主要駅からの経路・所要時間(目安)>

三宮から 約62分	阪神 神戸三宮	阪神本線・阪神なんば線・ 近鉄奈良線(快速急行)約47分	近鉄大阪線(普通) 約8分	近鉄長瀬 徒歩 約10分
大阪(南)から 約30分	JR 大阪	JR大阪環状線外回り 約15分	近鉄奈良線(普通) 約9分	近鉄八戸ノ里 徒歩 約20分
天王寺から 約20分	JR 天王寺	JR大阪環状線内回り 約5分	近鉄奈良線(急行)約18分	近鉄石切 徒歩 約6分*
なんばから 約20分	近鉄 大阪難波	近鉄奈良線 約5分	JR 新大阪	JR 約23分
奈良から 約39分	近鉄 奈良	近鉄奈良線(急行)約18分	JR 新大阪	JR 約23分
大阪(南)から 約43分	JR 大阪	JRおおさか東線(JR新大阪経由) 約28分	JR 新大阪	JR 約23分
京都から 約61分	JR 京都	JR京都線(新快速) 約23分	JR 新大阪	JR 約23分

*駅から近畿大学への直達バスです。
※各最速ルートを選択した場合。

■近鉄大阪線「長瀬駅」からのアクセス

